

研究室から

大学はいま

私たち麻酔科医の専門領域である「ペインクリニック」は有害な痛みを緩和するための治療を行う部門です。痛みの原因となる疾患は多くあり、私たちは日々痛みの原因の探しやより良い治療法を考えながら診療に当たっています。

近年注目されている痛みの一つに術後の痛みがありま

岐阜大病院麻酔科

疼痛治療科

山口忍臨床講師



す。手術を受けた患者さんは術後痛を体験されますが、時間とともに消えていくのが通常の経過です。しかし一部の患者さんでは痛みが術後長期間にわたり続くことがあります。これを「遷延性術後痛」といいます。

遷延性術後痛は外科的操作後に出現します。大手術でなくても、強い痛みが残っている可能性は十分にあります。欧米の統計から毎年約8万人の術後患者さんが、日常生活に現し、少なくとも3ヶ月続いている」といふ他に痛みの原因がないことなどから診断します。

長期間続く術後痛を研究

支障を来す遷延性術後痛を発症していると推定されています。

当科では、術後痛の実態を調査するため当院で手術を行った患者さんの術後の痛みを数カ月にわたり追跡調査しています。遷延性術後痛になります。遷延性手術の種類、条件などを明らかになれば、将来的にやさしい手術をより適切に治療でき、予防することができます。起きるのではないかと考えています。